

## 多くのお客さまから 「おかげさまで」と言われる存在に

ヤオコーは今年で創業 130 周年を迎えることができました。日本には 400 万社ほどの会社がありますが、100 年以上続いている老舗企業は3万社強、つまり1%にもなりません。長寿会社は、例えば京都の和菓子屋さんなど、比較的小さな会社がほとんどです。当社のように売上高が4,000 億円というような大きな会社はあまりありません。しかも、当社は着実に業績を伸ばしながら、ますます発展を続けています。

申し上げるまでもなく、小売業は変化適応業です。お客さまのニーズの変化に合わせて、時にはお客さまの生活の変化を促すようなかたちで、提供する商品やサービスを変えていきます。しかし、会社には変わらないもの、変えてはいけないものがあります。それが、その会社の基本的な考え方である哲学や理念です。志の高い企業哲学や理念を企業経営のバックボーンとしてしっかり持ち続けている会社が、長い年月、着実に発展する会社です。

当社の明文化された基本理念は、「生活者の日常の消費生活をより豊かにすることによって地域文化の向上・発展に寄与する」です。売ればよいとか、儲ければよいという考えではありません。私たちの働きが、地域の皆さまの食を中心とした日常生活の楽しさや豊かさに関与すること、多くの方々に、私たちのお店の側で暮らす喜びを感じていただくこと、そのことが、当社の存在する意義であり目的です。「ヤオコーはブレない」とよく言われますが、まず第一にこの理念がブレないからだと思います。創業以来の、いわゆる理念経営が今日までの当社発展の原動力になっています。

多くの人々にとって、食生活の楽しさや豊かさは、生きる幸せのベースになっているはずで、そして、スーパーマーケットの商いのレベルが、その地域の人々の食生活のレベルを決めてしまうのですから、私たちの役割は重要ですし、働き甲斐でもあります。多くのお客さまから、「おかげさまで」と感謝される私たちになりたいと、日々努力を重ねています。

代表取締役会長

川野 幸夫

